

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	4番 吉田貞子	<p>1 税の収納対策について</p> <p>(1) 現在の、当市の収納状況、滞納状況についての所信を、伺います。</p> <p>(2) 滞納者の実態は、どのように把握していますか。それぞれの税について滞納件数を示してください。滞納傾向を、お示してください。</p> <p>(3) これまでの収納対策の効果を、数字を示して答弁ください。</p> <p>(4) 税滞納者に対する行政サービスの制限の設置基準と内容、適用件数を、お示してください。また、このうち福祉目的の事業は何件ありますか。憲法第25条との整合性をどう、お考えですか。</p> <p>(5) 今後の収納対策について、見解を伺います。</p>	市長
5	3番 水落孝子	<p>1 小規模特認校について</p> <p>小原小学校、中学校において、平成20年度から小規模特認校に指定され、平成21年度教育方針の重点事項に『小規模特認校による特色ある教育活動の展開と就学の推進』と掲げられている。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 小規模特認校制度の中での、現状・成果・課題について。</p> <p>(2) 通学時間・費用が障害になっているように見受けられるが、助成の検討について。</p> <p>(3) 特色ある教育活動の大きなものは小中一貫教育と見受けられるが、その現状・成果・課題について。</p>	市長 教育長
6	17番 大町栄信	<p>1 農業の活性化について</p> <p>(1) 農業経営の安定化を図るため活性化推進対策について伺う。</p> <p>(2) 認定農業者、担い手、後継者への支援により白石の特色ある農業支援について伺う。</p> <p>(3) 耕作放棄地の解消を図り農地の再利用のための対策について伺う。</p> <p>(4) 地産地消の促進を図り農産物確保について現在の対策について伺う。</p> <p>(5) 今かなりの広域において、鳥獣の被害が増大している。農作物を守り安定生産できる対策について伺う。</p>	市長
7	2番 管野恭子	<p>1 本県へのドクターヘリ設置の早急促進について</p> <p>“空飛ぶ救命室”と呼ばれるドクターヘリが全国で着実に配備される中、本県においては未導入である。本市には山間地、多雪地も多く存在しており、又災害時も考慮すれば、早期の導入は市民の生命を守る上で非常に重要であり、本市においても本県での導入に強く積極的に働きかけるべきと考えるが見解を伺う。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
7	2番 菅野 恭子	2 携帯電話通信エリアの拡大の働きかけについて 携帯電話の利便性は事故、災害時にも、その効用は大きいものがあるが、本市には一部通信エリア外地域も存在している。小原上戸沢地区もその一つであるが、当地区は本市への県外からの観光客をはじめとする方々の通路になっており、事故発生時には民家の電話を借りて対処の連絡を取らざるを得ない現状にある。災害時、又、本市は観光の街として発展を望んでいる見地からも、入口にあたるこの地区が一日も早く標記エリア内に入れる様、関係事業団へ積極的に働きかけるべきと考えるが、見解を伺う。	市長
8	5番 沼倉 啓介	1 財政運営の安定的確保の為に自助努力の必要性について 国県との係わりの中で市町村の様々な施策の実現が図られている。 国民の政治へのストレスの高まりの中で政権交代がなされ、それらの係わりも不透明さを増している。本市も一般会計において実質単年度収支がマイナスとなり、更に二町組合への負担、国保特会への追加繰出、下水道会計等への繰出等の影響により経常収支比率も悪化傾向を示し、財政構造の弾力性も硬直化を示している。 まして前述の二町組合等の負担金の大幅な軽減の好転の見通しも見えていない。 市としてのそれらへの係わりについて確固たる姿勢等の必要性を感じざるを得ない。 財政運営の安定的確保の為に必要と思われるそれらについてのお考えについて。	市長
9	10番 大野 栄光	1 若者の結婚問題について 当市の数々の子育て支援、誕生支援策等が施策として多くの市民に快く支持されており。しかし今こういった施策の恩恵に与れない若者が大変多くなっている事に当市の将来を危惧している所であります。一人でも多くの若者が結婚をし家庭を築き充実した人生を送って頂き、社会に寄与してもらおうべく出来る限りの支援策を行政は惜しむべきではないと思います。 また、これから成長し、若者となるべき子供達に小学校、中学校時代の多感な時に折に触れ、結婚の大切さ、人を好きになり子供が生まれそんな子供達が社会を構築して行く事の大切さをしっかり指導し、学んでもらう事も大事な事と思いますが市長のご所見をお伺いいたします。 2 夜間の延長保育と泊まり保育について 2点目は景気は底を打った、上昇傾向にあると政府筋の機関はマスコミを通じ報じていますが、本市にとってはまだまだ実感が湧いてきません。 職安にあっては失職した人達の多さに雇用悪化で若い女性の職場が狭まって、仕事を選ぶ事が出来ない。ある仕事を何でもやりたいが子供がいるために、定時の仕事しかできない。その職場すらも狭まっております。介護職や旅館サービス業などもやりたいが、夜、子供を預ける施設が無い。そういった人達への夜間の延長保育や泊まり保育の施設の新設等に市長のご所見をお尋ねいたします。	市長 市長 市長